

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## 【保育課分】

## 1. 保育・教育について

## (1) 1号認定

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (必要利用定員総数)	1,898人	1,890人	1,866人	1,845人	1,841人
②確保の内容 (幼稚園・認定こども園)	1,898人	1,890人	1,866人	1,845人	1,841人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・3歳から5歳の就学前児童数は年々減少しており、今後も減少が見込まれる状況です。H26年度当初の幼稚園の定員に対する入園率は約63%となっており、入園が可能であることから、幼稚園の入園希望は満たされていると考えられます。
- ・現状で需要を満たしていると考えられることから、現状維持とします。

## (2) 2号認定

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (必要利用定員総数)	4,919人	4,903人	4,836人	4,783人	4,774人
②確保の内容 (保育園・認定こども園)	4,919人	4,903人	4,836人	4,783人	4,774人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・3歳から5歳の就学前児童数は年々減少しており、今後も減少が見込まれる状況です。H26年3月時点において、3歳以上児については、認可保育園への入園が可能であることから、保育園の入園希望は概ね満たされていると考えられます。
- ・現状で需要を概ね満たしていると考えられることから、現状維持とします。

## (3) 3号認定&lt;0歳&gt;

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (必要利用定員総数)	639人	636人	635人	635人	633人
②確保の内容 (保育園・認定こども園・地域型保育事業)	584人	636人	635人	635人	633人
②-① (確保の内容-量の見込み)	-55人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・就学前児童数は年々減少していますが、入園児童数については年々増加していることから、計画期間での「量の見込み」は、横ばいを想定しています。また、保育園では途中入園児が多く、4月当初と3月当初を比較すると、約2倍増加しています。
- ・計画期間のできる限り早い時期に、幼稚園の認定こども園への移行や地域型保育事業等を実施し、量の見込みに応じた確保を行います。

H27年度(H26年度整備) 施設型9人 地域型15人 合計24人

H28年度(H27年度整備) 施設型34人 地域型18人 合計52人

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## (4)3号認定&lt;1・2歳&gt;

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (必要利用定員総数)	2,357人	2,354人	2,346人	2,339人	2,337人
②確保の内容 (保育園・認定こども園・地域型保育事業)	2,233人	2,354人	2,346人	2,339人	2,337人
②-① (確保の内容-量の見込み)	-124人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・就学前児童数は年々減少していますが、入園児童数については、微増傾向にあることから、計画期間での「量の見込み」は、横ばいを想定しています。
- ・計画期間のできる限り早い時期に、幼稚園の認定こども園への移行や地域型保育事業等を実施し、量の見込みに応じた確保を行います。  
H27年度(H26年度整備) 施設型49人 地域型43人 合計 92人  
H28年度(H27年度整備) 施設型91人 地域型26人 合計117人

## 2. 地域子育て支援事業について

## (1)一時預かり事業

## ①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)

## ■1号・2号認定の合計

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延利用者数)	80,472人	80,222人	79,136人	78,267人	78,106人
②確保の内容 (年間延利用者数)	112,034人	112,034人	112,034人	112,034人	112,034人
②-① (確保の内容-量の見込み)	31,562人	31,812人	32,898人	33,767人	33,928人

## ■1号認定(保育を必要としない学校教育のみの保護者の不定期な利用)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延利用者数)	5,468人	5,451人	5,377人	5,318人	5,307人

## ■2号認定(保育の必要がある保護者の不定期な利用)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延利用者数)	75,004人	74,771人	73,759人	72,949人	72,799人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・幼稚園では、保育園並みに預かり保育時間を設けています。そのため、1人で年間約50回近い利用となっています。
- ・幼稚園の受け皿はニーズを超えているため、十分に保護者希望を満たしています。

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## (2) 延長保育事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間実利用児童数)	1,913人	1,908人	1,892人	1,880人	1,876人
②確保の内容 (年間実利用児童数)	7,562人	7,562人	7,562人	7,562人	7,562人
②-① (確保の内容-量の見込み)	5,649人	5,654人	5,670人	5,682人	5,686人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・平成25年度の1日あたり延長保育利用数は、公立保育園で入園児童数の約1.5%、私立保育園で約4.6%、総計約233人となっています。
- ・現状では利用希望は満たしていると考えられます。

## (3) 病児・病後児保育事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延児童数)	2,357人	2,351人	2,331人	2,316人	2,311人
②確保の内容 (年間延児童数)	5,292人	5,292人	5,292人	5,292人	5,292人
②-① (確保の内容-量の見込み)	2,935人	2,941人	2,961人	2,976人	2,981人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・平成25年度の利用率は約35.16%(1,867人)であり、利用定員を満たしています。

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## 【子ども家庭課分】

## 2. 地域子育て支援事業について

## (1) 利用者支援事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (箇所数)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
②確保の内容 (箇所数)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
②-① (確保の内容-量の見込み)	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・長岡市内の地域子育て支援拠点の中核を担っている、子育ての駅3施設(長岡地域)に子育てコンシェルジュが常駐し、対応します。
- ・訪問等をとおして保育園型支援センターや関係機関と連携を図ります。

## (2) 地域子育て支援拠点事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延べ利用者数、箇所数)	324,828人 (38か所)	324,120人 (38か所)	323,172人 (38か所)	322,524人 (38か所)	321,972人 (38か所)
②確保の内容 (年間延べ利用者数、箇所数)	324,828人 (38か所)	324,120人 (38か所)	323,172人 (38か所)	322,524人 (38か所)	321,972人 (38か所)
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人 (0か所)	0人 (0か所)	0人 (0か所)	0人 (0か所)	0人 (0か所)

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・子育ての駅と保育園併設の地域子育て支援センターの役割分担を明確化し、配置場所や箇所数の見直しを図ります。

## (3) 妊婦健診

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延人数)	23,730人	23,625人	23,580人	23,580人	23,505人
②確保の内容 (延人数)	23,730人	23,625人	23,580人	23,580人	23,505人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を交付し、新潟県内の医療機関・助産所に妊婦健康診査を委託して実施します。
- ・新潟県外で妊婦健診を受診した場合、償還払いで対応します。

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## (4) 乳児家庭全戸訪問事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (訪問数)	2,109人	2,100人	2,096人	2,096人	2,096人
②確保の内容 (訪問数)	2,109人	2,100人	2,096人	2,096人	2,096人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・生後4カ月未満の乳児のいる家庭を訪問するもので、開業助産師や健診等に従事する専門スタッフにより実施します。里帰り出産等により訪問しても会えない場合や、すでに仕事に復帰している場合があるため97%実施率ですが、その後の健診や相談会で状況確認をしています。

## (5) 子育て短期支援事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延利用人数)	0人	0人	0人	0人	0人
②確保の内容 (延利用人数)	0人	0人	0人	0人	0人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・平成25年度に実施したニーズ調査からは利用希望は把握できなかったため、将来的な検討課題とします。

## (6) 子育て援助活動事業(ファミリー・サポート・センター事業) (就学児のみ)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (年間延利用者数)	4,934人	4,884人	4,884人	4,884人	4,786人
②確保の内容 (年間延利用人数)	4,934人	4,884人	4,884人	4,884人	4,786人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・提供会員数の増加と会員研修の実施による質の向上を図りながら、会員数の少ない地域に事業周知を行い、引き続き事業を実施します。

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## (7) 養育支援訪問事業 その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延訪問数)	764人	759	756	755	752
②確保の内容 (延訪問数)	764人	759	756	755	752
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;すくすく子育て係分&gt;

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延訪問数)	117人	117人	117人	117人	117人
②確保の内容 (延訪問数)	117人	117人	117人	117人	117人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・こんにちは赤ちゃん訪問の従事者及び職員で実施します。必要に応じて、要保護児童対策地域協議会と連携して支援していきます。

## &lt;子ども家庭センター分&gt;

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延訪問数)	384人	380人	377人	376人	374人
②確保の内容 (延訪問数)	384人	380人	377人	376人	374人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・現在は家庭児童相談員及び家庭生活支援専門員が7名で対応しています。年々、経済的な困窮や、保護者の精神疾患・育児観の偏りといった養育力不足の家庭が増加しており、母子保健・精神保健のより専門的な観点からの対応が必要となっているため、保健師や心理士と連携しながら支援の充実を図っていきます。

## &lt;産前産後家庭生活応援事業分&gt;

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
①量の見込み (延訪問数)	263人	262人	262人	262人	261人
②確保の内容 (延訪問数)	263人	262人	262人	262人	261人
②-① (確保の内容-量の見込み)	0人	0人	0人	0人	0人

## &lt;提供体制、確保方策の方向性&gt;

- ・よりニーズに沿ったサービスの提供体制について検討します。

## 保育・教育及び地域子育て支援事業の量の見込み及び確保の内容について

## (8) 一時預かり事業

## ② 幼稚園(預かり保育)以外の一時預かり

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
① 量の見込み (年間延利用者数)	10,969人	10,944人	10,895人	10,861人	10,841人
② 確保の内容 (年間延利用者数)	10,116人	10,135人	10,148人	10,165人	10,199人
②-① (確保の内容-量の見込み)	-853人	-809人	-747人	-696人	-642人

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・一時保育実施施設の拠点化や実施方法を検討し、受入体制の見直しを行います。

## (9) 放課後児童クラブ

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
① 量の見込み (人数及び箇所数)	2,981人 (47か所)	2,927人 (46か所)	2,922人 (46か所)	2,914人 (46か所)	2,883人 (45か所)
② 確保の内容 (人数及び箇所数)	2,770人 (43か所)	2,820人 (44か所)	2,820人 (44か所)	2,820人 (44か所)	2,820人 (44か所)
②-① (確保の内容-量の見込み)	-211人 (5か所)	-107人 (2か所)	-102人 (2か所)	-94人 (2か所)	-63人 (1か所)

< 提供体制、確保方策の方向性 >

- ・児童クラブの施設規模や児童厚生員の配置等を考慮し定員の見直しを行います。
- ・利用者の増加に伴う施設の分割や増設等の対応については、児童数の推移や保護者のニーズなど地域の実情に応じて箇所数の見直しを行っていきます。